

平成 31 年度 政治・経済 学習の予定

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際社会や日本の政治経済について、そのしくみや特色を理解し、現代を生きる主権者としての教養を深める ・大学入学試験に対応できる学力をつける
使用教科書・副教材等	教科書 『高等学校 改訂版 政治・経済』（第一学習社） 副教材 『最新 政治・経済資料集』（第一学習社） 『現代社会＋政治・経済』（清水書院） 問題集 『4 ステージ演習ノート 政治経済』（数研出版）

2 学習計画、評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい
第1学期	第1編 第2章 現代の国際政治と日本	4 5	17世紀～現代の国際社会の特質や問題について理解を深める
	第2編 第1章 現代経済のしくみと特質	6 7	現代経済の原理・しくみについて理解を深める 現在の日本社会が抱えるさまざまな経済課題について理解を深める
	[課題・提出物等]	・授業内で随時、センター試験対策などの問題演習をおこなう	
	[テスト範囲]	中間テスト	教科書 pp. 84～120 4 ステージ演習ノート pp. 48～77
		期末テスト	教科書 p121～p166 4 ステージ演習ノート pp. 78～99
	[第1学期の評価方法] 定期考査と授業態度などによる総合評価		
第2学期	第2編 第2章 国民経済と国際経済	8 9	現代の国際経済の原理・しくみについて理解を深める
	第3編 現代社会の諸課題	10 11	現代の日本や世界の諸問題についての理解を深める
	[課題・提出物等]	・授業内で随時、センター試験対策などの問題演習をおこなう	
	[テスト範囲]	実力テスト	教科書 pp. 167～195 4 ステージ演習ノート pp. 100～113
		中間テスト	教科書 pp. 196～219 4 ステージ演習ノート pp. 114～135
	期末テスト	教科書 pp. 220～237	
	[第2学期の評価方法] 定期考査と授業態度などによる総合評価		
第3学期	センター試験に向けて特別編成授業	12 1	センター試験の出題形式で、内容・難易度に対応した問題集を解きながら本番に備える ※『センター対策問題集』（進研、河合）を購入の予定
	[年間の学習状況の評価方法] 1・2学期の定期考査と授業態度等による総合評価		

3 その他

9月以降、1年次に学習した政治分野の総復習のための補習をおこなう。この補習では、センター試験の過去問演習もおこなう予定。

4 授業を受けるにあたっての注意事項

- (1) 授業の用意をきちんとおこなう
 - ・授業はプリント形式
- (2) 授業時のマナーを守る
 - ①遅刻をしない
 - ・チャイム前に授業の準備をして着席、授業はチャイムと同時に開始
 - ・授業開始時に座席にいない者は欠席扱いとする
(遅刻した者は、入室時に遅刻の理由を述べること。申し出なき者はそのまま欠席扱い)
 - ②スマホは、原則持ち込み禁止(調べ学習などで必要な場合は、事前に連絡する)
 - ③その他
 - ・飲食しながら、ガムを噛んだまま、帽子をかぶったままというのは厳禁

5 学習のポイント

- (1) 教科書・資料集をよく読む。
- (2) 予習をおこない(該当箇所の教科書を一読するだけでもよい)、授業に臨む。
- (3) 新聞を読み、社会の動きに興味・関心をもつ。近年のセンター試験では、時事的な事項の出題も多くなっている。
- (4) 単純な暗記では確実な得点を望めない。特に、経済分野では経済の「原理・しくみ」を理解することに重点を置く。また、政治分野では日本国憲法の内容を熟知することが重要。
- (5) 2学期から始まる政治分野の総復習のための補習では、センター試験の過去問から出題の傾向を知り、さまざまな問題に取り組む。
- (6) 模試は必ず復習する。模試の解説書を有効に活用すると効果的である。
- (7) 定期考査は、難易度の高い問題、授業の学習内容以上の範囲で出題する。70点以上を目標とする。